

特殊事案研究コース

専門研修

受講日数	3日間
対象者	3級技能ランク以上登録者または同等の技能を有するもの
見積教材車	

目的 不正請求疑義事案などの解決に向けた整合性判断の知識を習得し、対応能力の向上を図る。

概要

不正請求疑義事案などに対する基本的対応と調査のポイント
 事故再現：損傷状況から見る衝突形態の推定、自動車の特性と損傷の関係
 実験・実習：バリア衝突実験、損傷車両を使用した傷の外見的観察実習と記録・保存
 事例研究：衝突実験データをもとに推定する事故状況・飛び石事故の対応例と考察
 不正請求疑義事案における弁護士の視点から見た技術アジャスターの役割と事例紹介
 交通事故現場調査と盗難発見車両ならびに水没・転落事故などについての調査手法

特色

- ・弁護士による講義を実務担当者（技術アジャスター）に実施
- ・カローラ 140 実車 2 台を用いた側面衝突事故をバリア衝突実験で再現
- ・実車を用いた豊富な衝突事例研究結果の解説

	水	木	金
9:00		衝突形態の推定 －衝突事故の解析手順－	転落、水没事案の調査 交通事故現場調査
10:00		衝突形態の推定 －事故再現手法－	民事訴訟における アジャスターの役割
11:00		バリア衝突実験	
12:00		昼食	
13:00	開講式(13:00～13:10) 不正請求防止に対する取組み －オリエンテーション－	衝突実験データの事例研究 衝突相手物の形状による損傷特徴	盗難車両調査
14:00	不正請求疑義事案等への対応	衝突実験データの事例研究	実験車両の外見的観察実習
15:00		傷の外見的観察実習	研修のまとめ 修了式(15:40～15:50)
16:00			不正請求疑義事案等の調査例 ／事例研究
17:00	自動車の運動特性		※最終日は昼食後、私服 に着替えて午後の講義 に出席して下さい。
18:00	夕食		

